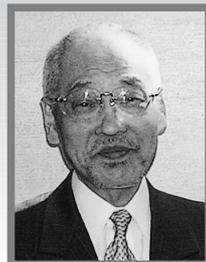


追悼



故 渡邊 邦守 会員 (19期)
2008年10月30日逝去・71歳
1986年度東京弁護士会監事

渡邊邦守先生を偲んで

会員 安藤 春木 (20期)

渡邊邦守先生が昨年10月30日に亡くなられた。先生は、一昨年秋ごろから体調を崩され、療養に努めておられるとお聞きしていたが、昨年2月の東弁の選挙の際には、選挙管理委員として元気に投票に立ち会っておられたので、快方に向かわれているものと思っている中での訃報であった。享年71歳であった。高齢化社会がいわれる今、平均寿命からいってもいささか早いご逝去である。

先生は、東京教育大学（現 筑波大学）文学部をご卒業された後、在野の司法試験受験指導団体である攻法会において勉強され、昭和39年度の司法試験に合格して、第19期司法修習生となられた。私は、同会において、1年間先生の熱心なご指導を受け、そのおかげで翌年の試験に合格することができたものである。先生は、修習終了後検事に任官されたが、2年位で退官されて、昭和44年7月に弁護士を開業されるに当たり、私と同じ会派に属しておられた兄君の故渡邊武彦先生の事務所へ入られたので、半ば必然的に私と同じ会派に属されることになり、再び親しくお付き合いさせていただくことになった。

先生は、受験指導をしていただいたところから一貫して、原理・原則を重視し、何事も本質に立ち返って考える、正義感の強い方であった。短い期間とはいえ、検事をおやりになったのも、そのご性格が影響していると思われるが、その後の先生の法曹界におけるご経歴にもそれが現れている。

先生は、東弁においては、昭和61年度の監事をお務めになったほか、常議員（3回）、刑法「改正」対策本部と拘禁二法案対策本部の各監事もおやりになり、また、国選弁護運営委員会、財務委員会、人事委員会、綱紀委員会その他の各種委員をおやりになったが、中でも、選挙管理委員が長く、平成16年9月から平成18年8月まではその委員長をおやりになった。また、日弁連においては、代議員（2回）、弁護士休業共済委員会、弁護士互助年金委員会（いずれも委員長）その他の各種委員をおやりになった。そして、それらの委員会等において、何度も皆勤表彰、精勤表彰を受けておられることも、先生の真面目なお人柄を表している。私どもの会派においても、困ったときはすぐ助けて下さり、本当に頼りになる存在であった。なお、その他の面では、関弁連理事、渋谷簡裁の調停委員などもやっておられた。

先生は、弁護士業務の面でも、たまたまお聞きした内容などから拝察すると、細かなことまで実にていねいに仕事しておられたが、ご家庭では、奥様とお子様達に囲まれて和やかで暖かいご家庭を築いておられ、また、地元では、お忙しい時間を割いて、長いこと少年野球のご指導しておられた。日本の良識的な弁護士の典型のような方であった。その温顔にもう接することができないのは寂しい限りであるが、今はご冥福をお祈りするのみである。